

浦幌町議会「防災」アンケート結果

回答者数 124 名

問1 あなたは、自然災害に対する防災について、日頃から意識していますか。

している	92
していない	26
わからない	6

問2 あなたは、災害や防災に対して、普段から準備していることがありますか。
(複数回答可)

食糧	52
水	69
衣類	33
くつ	19
懐中電灯	99
ラジオ	53
くすり	36
その他	10

その他：マスク、ティッシュ、タオル、靴下、下着、雨具、軍手、防水シート、紙オムツ、ビニール袋、バスタオル、小銭、新聞紙、カメラ、敷物、毛布、ロウソク、充電器、

問3 あなたは、自分の避難所・避難場所をご存知ですか。

知っている	107
知らない	17

問4 町から災害や防災に関する情報が十分に提供されていると思いますか。

されている	17
ある程度されている	82
されていない	25

問5 「自助」、「共助」、「公助」という言葉についてご存知ですか。

知っている	73
知らない	51

問6 防災に関する訓練や勉強会に参加したことがありますか。

参加した	41
参加していない	79
わからない	4

問7 自主防災組織をご存知ですか。

知っている	47
知らない	77

問8 自主防災組織は必要だと思いますか。

必要	87
必要ない	3
わからない	34

問9 防災のために、どのような環境整備が必要だと思いますか。

- ・補助金にばかり目が向いているが、自主防災組織の立ち上げに必要なのは行政区内のネットワークづくりと意識改革。役場ばかりでなく議員からも呼びかけを。
- ・街の中の川の清浄。
- ・隣同士、常に話し合い、どのように避難をするか決めておく。
- ・防災のための研修会。
- ・常日頃、町内会が一体化できるように。
- ・一番身近な地区単位での災害時の行動マニュアル（？）の決定。
- ・北栄地区の水害対策が十分機能するのか心配だ。
- ・公助より共助が必要だと思う。
- ・知識の向上、意識の共有。それには気象の変動、災害の可動性などの知識・認識が必要と(欠けているとも)思っている。
- ・雨水道の掃除
- ・住民の自治組織が必要。
- ・自主防災組織を各町内に設置し勉強していくとよい。
- ・避難場所の環境整備（トイレ等）。
- ・避難訓練が必要。
- ・避難情報の伝達。
- ・雪が降った時の整備・対応
- ・自主防災組織を作る。
- ・情報の細かな提供と住民の訓練。
- ・日頃から地域のコミュニケーション。
- ・過去の災害情報を含めた情報周知、連絡網、避難訓練（行政区内それぞれの役割の認知ができるように）。

- ・日頃からの心がけと訓練。
- ・道路が一本しかない。いざというとき不便だ。
- ・自分で決める事。
- ・日頃より安全、安心できる環境づくり（道、場所）。
- ・冬場の避難場所の暖房。
- ・道路の雑草を刈る。
- ・各町村の良い所を見て整備せよ。
- ・水の整備。
- ・町との連携。地域と周りへの伝達のスムーズさ。
- ・橋・道路の完備。
- ・最近は忘れてきている。
- ・本人の心がけが一番。
- ・生活基礎・インフラ整備（道路・水道・電気）・設備の充実を改善望む。
- ・道路整備。
- ・土手、橋、トンネル、海岸沿いのインフラ整備。
- ・避難所案内。
- ・道路に対する環境整備。
- ・避難情報をはっきり伝えてほしい。
- ・雨水道の清掃。空き家の撤去。
- ・SNS機器の充電場所。
- ・電気・通信機器・発電といった、個人では用意しにくい物のストック。
- ・マップなど。
- ・道路・河川・橋の点検などを日頃から行う事。
- ・緊急時の食料・水の貯蔵。
- ・電気とインターネットなどを使用できる環境。
- ・避難所をもう少しマシにしてほしい。屋根なし、壁なしの場所で何時間いることを想定しているのか。真冬は？
- ・近隣住民のネットワーク。
- ・交通整理、地域での防災訓練。
- ・テントがほしい。駐車場を広く。
- ・避難路が迂回路なので遠すぎる。
- ・情報整備と他市区町村との連携及びノウハウの研究。
- ・浦幌川の堤防整備。再検討が必要。
- ・さまざまな災害があるので一概にこれが必要と言えないが、個人や家庭用の災害時マニュアル等（簡単なもの、壁に貼れるもの）があればいいかなと思う。
- ・土砂のせき止め。

問 10 災害時や防災体制整備で町に望むことはありますか。

- ・浦幌町で何らかの災害が起こりうるかを知って、その対応を知っておく。
- ・緊急避難時の広報、連絡のあり方。

- ・ダンボールを多くストックしておく。
- ・人命第一だが、酪農業は電気と水がないと直接の被害がなくても大きなダメージを受ける。その対応策を検討して、災害時の対応を周知してほしい。
- ・北栄地域に避難所を施設すべきである。
- ・自主防災組織を早く作る。
- ・災害時の状況をいち早く知らせしてほしい。町民が今（災害時）何をしたらよいかの指示を早めに！
- ・地震も洪水も必ず来る。住民の命を守る意識をいつも持ってほしい。
- ・トイレを洋式化してください。
- ・避難訓練を実施したほうがよい。
- ・部屋の中ではサイレンが聞きづらい。
- ・避難情報を早く伝えてほしい。
- ・広報車等で情報をしっかり伝えてほしい。
- ・情報伝達の整備。
- ・防災訓練の実施。
- ・備蓄などの整備。
- ・もっと自主防災組織を作ることに努力してほしい。
- ・設備の充実と情報提供の拡充。
- ・避難訓練が必要かと思います。
- ・自主防災組織を町・行政区・連合行政区が協力して、できるところから進めてほしい。
- ・広報車、災害防止等のスピーカーが聞き取りにくい。
- ・避難場所を増やす。
- ・助けに来られるのか。
- ・机上計画のみならず、現地の実態の確認を望む。
- ・町民全体での一斉避難訓練。
- ・災害が起きたときにリーダーシップをとれる人を育てる。
- ・各家庭に意識づけること。
- ・定期的に訓練を。
- ・おおいにある。
- ・本州での災害を見て、本町は山林が多く、土木災害が発生するのでは。森林整備の早急な取組を望む。
- ・セブンイレブンと協定書を交わしたことが良い。
- ・お年寄りをいたわる体制を日頃から身につける習慣
- ・即時町民に聞こえるよう防災放送の音量を大きくしてください。
- ・避難所までの道案内をもっと理解しやすく、見やすく掲示してほしい。
- ・昨年も通行止めがありまして、道路の環境整備をお願い致します。
- ・危険な場所を知らせる。
- ・厚内などの海岸地域は避難場所が徹底されていますが、市街地域は安心感があり、もしものための避難場所の情報発信。

- ・インフラ整備、女性に対する気配り（授乳室や、生理用品の用意など）。
- ・災害時にコーディネートできる役場職員の育成。
- ・防災時にすみずみまで連絡がいきわたるように。
- ・リーフレット作成。
- ・ボランティア（災害物資）の受け入れ体制の迅速化。情報発信。
- ・情報を早めに。
- ・スピーカーの音が聞きとりづらいので何とかありませんか？
- ・自主防災組織への資金面での強化。
- ・災害後の復興援助。
- ・避難所の外灯が必要と思います。
- ・アンケートをとってから避難所を作って（決めて）ほしい。避難経路にゲートがかかっている。
- ・すべて平等に考えでなく、優先される者・物と、切り捨てないとならない事について考えてみてもらいたいです。
- ・24時間雨量、1時間雨量、浦幌川の限度雨量は？
- ・会社等で行う災害訓練ではなく、もう少し枠を拡げた地域ごと、あるいは行政区ごとで訓練を行えば良いかなと思う。
- ・倒れたまま放置されている木の撤去。

問 11 防災に関して自由にご意見をお書きください。

- ・防災の日を決め、何らかの訓練、話し合いをする。
- ・車で巡回している時があるが、言葉が聞きづらいのと早く回りすぎる。
- ・街で生活していた時はある程度防災や災害時のイメージができていたが、酪農業に従事するようになって、災害時どう行動すべきなのか、何が起こりうるのか、日頃どんな備えが必要なのか、ほとんど見当がつかなくなってしまった。農業に携わる人たちが、災害時どうすればいいのか、また、他の地域で災害にあった農家さんの話などが知りたい。
- ・特に集中豪雨による防災対策が、喫緊（きっきん）の課題である。敏速な対策、対応を強く望む。
- ・今までに、今日本で次から次に起こるこれほどまでにすごい災害にあったことがないので、もしその時自分がどう行動してよいかわからないのが現実。災害が起こりうるという心構えだけは、常に持っていることが必要と思っている。
- ・近頃は災害も多用で、ニュースで知る限り常に意識することが大切かと自分は思うところ。震災体験はあるので不安な気持ちは多少なり軽減されている。しかし台風や水害は経験がなくわからない。
- ・方々で起きている大雨被害時の雨量なら、浦幌川の堤防はもたないと思う。どの程度の雨で危険か、知っておきたいと思っている。
- ・昨年大雨時、浦幌町から避難したと放映され、安否の電話が数件ありました。地区名まで伝えていただけたよいと思います。
- ・住民の関心と自主取り組み態度が必要。

- ・具体的に各町内で説明会を開いて、町内会に補助金を出すとともに町会規約の一部を修正し、防災組織化に努めるとよいと思う。
- ・避難訓練が要と思います。
- ・マップが配られてくるけど、説明会みたいのが必要だと思います。
- ・浦幌町は防災上住みやすい町だと思う。
- ・誰でもわかりやすく安心できるような町にしてほしいです。
- ・一度くらい防災訓練が必要だと思います。
- ・安心して住めるよう、よろしく。
- ・災害は繰り返すと思います。地震・水害、ここ10～20年くらいの災害記録から学べるところ。又、災害そのものの記録をもっと精緻に。又、記録を生かされる職員育成。
- ・山に逃げるしかない。
- ・弱者の意見も聞き入れてほしい。
- ・浦幌町で想定される被害情報と、それに対応する各家庭での対策を知りたい。
- ・予算などの見直し。
- ・避難訓練の実施。
- ・避難訓練を。防災のスピーカーが聞こえづらい。
- ・防災・災害時のサイレンの音。本当に町民が音の区別ができるように、伝達ができるように。
- ・敏速に対応策ができていますか。
- ・聞き慣れないサイレンが鳴ると落ち着いて行動が出来なくなると思うので、たまに点検で鳴らしてみてもいいですか？
- ・幼・小・中の時から防災に対する意識づくりが大切だと思います。
- ・いざ災害になった時に自分自身を含めて、それぞれがどのような行動ができるのかと思う。緊急時こそ、小さい町ながらの助け合い・コミュニティを日頃から意識する必要があると思った。
- ・町としては精一杯やってくれているとは思いますが…。道もしくは国が手助けしてくれればよいのですが…。
- ・近くの倉庫の前の大量のゴミが手つかずで、気になっています（大風とか火とか）。
- ・避難路への行き来が今のままだと有事の際にすぐに行けなさそうなので不安です（厚内2区）。
- ・お年寄りや子供達を守れるよう、地域で協力して防災対策を行えばよいと思います。
- ・防災のスピーカーが聞きとりやすく、気づくと終わっていますが、スムーズに聞こえるようになりませんか？ノイズがすごい。
- ・厚内小学校裏にもコンテナを置いて、屋上も使えるように。
- ・避難路を用意してほしい。
- ・自分は防災についてあまり備えていないので説得力がないですが、行政が行う公助よりも自助・共助に重点を置けるように取り組んでみてほしいです。町民が「行政が何とかしてくれる」と思っている現実が一番問題かもしれません。

- ・行政に対し、防災の勉強会・講習会等の実施。
- ・災害に強い「まちづくり」をすべきです。